

# いほろ議会だより

平成30年5月

No. 168

発行 土幌町議会

HPアドレス

<http://www.sfnhoro.jp/assembly/>



## Contents

- 3月定例会  
条例の改正、補正予算 [ほか]…………… 2ページ
- 一般質問  
高齢者ドライバーに対する支援策について [ほか]3件…4ページ
- 予算審査質疑  
かけ橋「高校生等の若者人材は町の将来の宝から始まった」  
株式会社Cheer Sの創立  
株式会社 Cheer S (チアーズ)  
代表取締役 加納 昇さん…………… 12ページ

30名の卒園児 おめでとう！

平成29年度 認定こども園 卒園式

平成30年  
第1回  
定例会

平成30年度一般会計ほか6特別・1事業会計予算

# 前年度対比3.4%減、総額116億円

農業共済事業会計の廃止、災害復旧の減により前年度対比4億97万円の減



多くの傍聴者が訪れた定例会（3月13日、一般質問）

第1回定例会が、3月9日から16日までの会期で開会。初日は行政報告、教育行政報告、町政及び教育行政執行方針ほかを行い、人事、指定管理者の指定等の議案7件と平成29年度補正予算5件を審議。13日は、議員4名が4件の一般質問（質疑の要約は4〜6ページに掲載）を行った後、平成30年度予算審査特別委員会（細井文次委員長）を設置し、15日まで予算審査（質疑の要約は7〜11ページに掲載）を実施し、予算審査特別委員会が閉会した。16日に本会議を再開し全会計の歳入歳出予算を原案どおり可決する旨の委員長報告があり、本定例会で全ての議案が原案どおり可決及び同意等を行い、閉会した。

平成30年度 当初予算全会計総括表

単位：額は万円、伸率は%

会計区分	平成30年度	平成29年度	前年度対比	
			増減額	伸率
一 一般会計	71億4,400	77億6,100	▲6億1,700	▲8.0
特別会計				
国民健康保険	10億3,541	11億4,382	▲1億0,841	▲9.5
後期高齢者医療	9,758	9,659	99	1.0
介護保険	7億1,044	6億6,638	4,406	6.6
介護サービス	5億2,910	5億1,554	1,356	2.6
簡易水道	3億8,885	4億6,214	▲7,329	▲15.9
公共下水道	6億2,604	2億1,131	4億1,473	196.3
農業共済	0	1億3,576	▲1億3,576	▲100.0
病院事業会計	11億1,633	10億1,500	1億0,133	10.0
合計	116億4,775	120億5,754	▲4億0,979	▲3.4

報告	結果	賛・反
行政報告	結果	賛・反
町政執行方針	了承	
例月出納検査報告	結果	賛・反
条例の制定	可決	賛・反
土幌町指定居宅介護支援事業者の指定に関し必要な事項並びに指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準を定める条例案	可決	賛・反
条例の改正	結果	賛・反
職員の給与に関する条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
報酬に関する条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町国民健康保険準備基金条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町国民健康保険条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町立学校設置条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町乳幼児等医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町介護保険条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町国民健康保険病院事業条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町地域活動支援センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例等の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
土幌町地域包括支援センターの人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例案	可決	賛・反
一般議案	結果	賛・反
指定管理者の指定について（いきいきデイサービスセンター）	可決	賛・反
指定管理者の指定について（上居辺へき地保育所）	可決	賛・反
指定管理者の指定について（下居辺交流施設）	可決	賛・反
条例の廃止	結果	賛・反
土幌町ふるさと体験広場設置条例を廃止する条例案	可決	賛・反

## 第1回定例会で審議された案件

# 平成30年度予算の 主要施策概要

平成30年度一般会計当初予算額は、71億4,400万円、前年度対比6億1,700万円、8・0%減となり、一昨年発生した台風の災害復旧事業が終了したことにより、減額となった。また、一般会計ほか6特別会計及び1事業会計の当初予算総額は、農業共済事業の再編等により前年度対比4億979万4千円減の116億4,774万6千円と前年度を下回る予算となった。

小林町長は、平成30年度町政執行方針の中で「国際化やグローバル化が進む中、地域においても、人口構造の変化・労働力不足・医療・介護問題・自然災害の多発など、町を取り巻く環境が大きく変化する中であって、行財政、産業経済、町民生活と何れの分野においても厳しき、多様性が増しており、平成30年度は、私にとつて町政5期目の最終年であり、第6期町づくり総合計画（平成28年度～平成37年

度）、まち・ひと・しごと創生総合戦略（平成27年度～平成31年度）の推進方向を踏まえながら、

- ▼協働する町づくりによる地域力の向上
- ▼時代のニーズを踏まえた戦略的な町づくり
- ▼健全な財政に留意しつつ、メリハリのある行財政の推進

を政策展開の基本とし、地域の人・産業・資源を活かした「活力のある町」と、町民誰もが安心・安全、生きがいを実感出来る「豊かな町」を目指し、全力を傾注して町政を推進する。」と決意を述べた。



平成30年度町政執行方針を述べる小林町長

## 力点事業

- ▼しほろ創生賑わい創出事業（新会社Cherersへの負担金） 1,700万円
- ▼子育て世帯向け公営住宅整備事業（公住「南巨戸団地、睦団地」の建替、5棟10戸、「若葉団地」の取壊し） 2棟 2億823万円
- ▼災害時の避難所対策（総合研修センターWiFi設備整備） 288万円
- ▼車両センター車庫増設事業（ツールバスの増車により） 600万円
- ▼分譲住宅地の造成事業（遊休町有地に4区画整備） 643万円
- ▼農園付き住宅外構整備（旧下居辺保育跡地に4棟整備済の外構工事） 270万円
- ▼インフルエンザ予防接種助成（生後6カ月から高校3年生までと妊婦） 35万円
- ▼小・中学校補助教材の助成事業（主要教科学習に必要な問題集・副読本などの一部助成） 355万円
- ▼産後ケア事業（出産後の母

## 人事

▼教育委員会教育長の任命について	結果	賛・反
▼固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意	全員賛成
▼公平委員会委員の選任について	同意	全員賛成
▼人権擁護委員の推薦について	適任	全員賛成
平成30年度各会計予算	結果	賛・反
▼一般会計	可決	全員賛成
▼国民健康保険事業特別会計	可決	全員賛成
▼後期高齢者医療事業特別会計	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計	可決	全員賛成
▼介護サービス事業特別会計	可決	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計	可決	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計	可決	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計	可決	全員賛成
平成29年度各会計補正予算	結果	賛・反
▼一般会計(第8号)	可決	全員賛成
▼介護保険事業特別会計(第3号)	可決	全員賛成
▼簡易水道事業特別会計(第2号)	可決	全員賛成
▼公共下水道事業特別会計(第1号)	可決	全員賛成
▼国民健康保険病院事業会計(第3号)	可決	全員賛成

親の身体・心理的ケアの支援  
17万円  
任期満了に伴い、土生明美さん（若葉）の再任に同意

▼電子母子手帳利用事業（スマホなどで専用アプリを使用）  
26万円  
【公平委員の選任】  
任期満了に伴い、小坂美幸さん（旭東）の再任に同意

▼パークゴルフ場復旧事業（清流パークゴルフ場流失による代替地整備）  
4,900万円  
【人権擁護委員の推薦】  
任期満了に伴い、赤根和美さん（中土幌東団地）の新任に対し適任

## 人事

【教育委員会教育長の任命】  
任期満了に伴い、堀江博文さん（中土幌西）の再任に同意

## 一般質問に4名が登壇

# 町民の声を町政に・町政のこころが聞きたい

加藤 宏一 議員 ➤ 高齢者ドライバーに対する支援策について

中村 貢 議員 ➤ 平成30年度の予算編成について

清水 秀雄 議員 ➤ 生活保護基準の引き下げによる影響について

秋間 紘一 議員 ➤ 組織・職員・仕事の質の向上と「イクボス宣言」について

3月定例会では、4人の議員が一般質問に登壇し、理事者の考えをいただきました。内容を要約してお知らせします。全文については議会ホームページに掲載(6月上旬予定)します。

## 免許自主返納後の

## 足の確保は

支援する方向で検討

### 【加藤宏一 議員】



#### 質問

高齢者ドライバーに対する支援策として、事故防止策や免許証自主返納等を含めた施策が喫緊の課題と考える。町長の所見を伺う。

#### 町長答弁

高齢者の交通安全対策として、老人クラブ連合会総会などで土曜駐在所による交通安全講話や夜間反射板、啓発物の配付を行い、高齢者の事故防止運動に努めている。自主返納制度については、返納

手続きと併せ、返納者の路線バス利用の際の運賃半額割引の特典などを定期的に町広報等で知らせている。

#### 質問

町として取り組んでいるコミュニティバスが3年経過し、年間6,000人の利用が実績として残っている。一方郡部では、スクールバスの混乗という形をとっているが、便数が少ない。

また、農村での労働力不足の面から免許を返納しても家族の助けなしに自分で出かける環境を速やかに整備する必要があると考えるが。

#### 町長答弁

町として免許証の自主返納と併せてお年寄

りが出かけるための足の確保を庁内で検討しているが、交通手段についてはアンケートを取って希望を調査する。農村部については、何らかの足の確保対策とすることを進めなければならぬと認識をしているので31年度以降に支援する方向で検討する。

#### 質問

高齢者の運転に対する支援策としてブレーキとアクセルの踏み間違えを防ぐ急発進防止装置というものに対して助成措置を講じては。

#### 町長答弁

急発進防止装置については、どの様なものかということをも町の担当に調査させる。

【中村 貢 議員】



**質問**  
平成30年度は、町長にこつて、5期目の最終年度となるが、予算編成に当たっての特徴と意気込みをどのような施策に重点を置いて行ったのか伺う。

**町長答弁**  
私にこつて5期目の最終年度となるもので、そのことを踏まえ、協働するまちづくりによる地域力の向上と時代のニーズを踏まえた戦略的まちづくり、もう1つは、健全な財政に

留意しつつ、メリハリのある行財政の推進を基本的な視点として予算編成を行った。1点目は定住人口の安定に向け、住宅環境の充実が必要との考えから各種施策を実施するものである。2点目は、子育て支援施策の充実。3点目は、地域活性化に向けて、ものづくり、人づくり、まち発信を旨とする新会社（株）Cheese（チチーズ）を設立し、働き手の確保にも努める。

**質問**  
4点目は、公共施設等の老朽化に対応した管理の推進を実施する。

**質問**  
町長に重点施策を述べて頂いたが、その中でも特に、新会社の設立で今年度ある程度目

途をつけたいということだと思ふ。この会社は営利目的ではなく、あくまでも地域の人づくり、ものづくり、企業の進出を目的とした会社であり、そのことが町民にまだ周知されていないので今後しっかりと周知を願う。

**町長答弁**  
いろいろな形で会社なり加工施設の話はしているが、町民の皆さんに周知が不十分だと聞いているので、4月号の広報又、今後4月からの懇談会もあるので町民の皆さんにしっかりと説明とピアールをしていきたい。

**質問**  
製品開発及び会社の人材育成、その他についてもしっかりとプロがなければ成功しないのではないかと思う。会社が軌道にのるまでには、最低5年はかかるかと私は見ている。それまでの期間の支援、

対策を伺う。

**町長答弁**  
会社の経営計画等を3年ごとにしっかりと立てながら進めていくように会社に経営陣と協議をしていきたい。又、会社を運営するために実際はマネージャー的存在も必要不可欠な

うに会社の経営陣と協議をしていきたい。又、会社を運営するために実際はマネージャー的存在も必要不可欠な

ことから、今後どのように確保していくか会社とも協議して進めていきたいと思ふ。

## 議会だよりをあなたのスマホにお届け



## マチイロ 導入しました

アプリをインストールし、簡単な個人設定を行うと使用開始になります。「お住まいの地域」で郵便番号などから「北海道士幌町」を登録すると、発行日に「議会だより」が届きます。



うに会社の経営陣と協議をしていきたい。又、会社を運営するために実際はマネージャー的存在も必要不可欠な

ことから、今後どのように確保していくか会社とも協議して進めていきたいと思ふ。

# 生活保護基準の引き下げによる影響と対策は

## 町独自の制度では不利益にならないよう対応



【清水秀雄 議員】

年に1度、全国消費実態調査に基づき必要な見直しを行っており、公平性を確保する観点から見直しを行うものである。

本町においては、生活保護基準が低い地域であり、この度の改正では、生活保護基準が上がる地域に含まれると想定される。

厚生労働省は、生活保護利用世帯に対する生活扶助費を2018年10月から2020年10月までに3年連続で減額する計画としている。

生活保護基準の見直しによると子どもが多い世帯ほど減額が大きくなるが本町においては、どの様な影響を及ぼすのか。また、その対策について伺う。

### 町長答弁

生活保護基準は、5

確に示されていないので、今後、相談窓口の明確な掲示を示してはどうか。

### 町長答弁

今後、広報・役場などより等で、制度改正を知らせて行く。相談については、保健福祉課での対応を周知していきたい。

本町の福祉施策として、相談に対する十分な対応を行う為、取り組んでいきたい。

### 質問

生活保護基準の引き下げ対策については、関係課において改正後の基準を元に町独自で行っている制度についても不利益な影響がないよう対応していきたい。

現在、生活保護制度の住民周知が不十分であると考える。また、相談窓口についても明

確に示されていないので、今後、相談窓口の明確な掲示を示してはどうか。

# イクボス宣言を行っては

## 色々な角度から検討する



【秋間紘一 議員】

超える企業）は次世代育成支援のための行動計画の策定と実行を通じて仕事と家庭の両立を図る雇用環境の整備が義務づけられた。

本町では、男女の区別なく仕事と家庭の両立に向けた働き方改革を進めていくことは重要との認識であり、行政だけでなく、民間事業者に向けた普及も視野に入れながら、検討を進めていきたい。

町では、特定事業主行動計画を策定し実践中であり、着実に成果を上げる為には、職員が仕事の質の向上をさせ、組織の総合力を高める質的向上に着目した改革が必要と考えるが実行する上では、イクボス宣言を行ってはどうか。

次世代育成支援対策推進法に基づき、国、地方公共団体、企業（常時従業員が300人を

超える企業）は次世代育成支援のための行動計画の策定と実行を通じて仕事と家庭の両立を図る雇用環境の整備が義務づけられた。

本町では、男女の区別なく仕事と家庭の両立に向けた働き方改革を進めていくことは重要との認識であり、行政だけでなく、民間事業者に向けた普及も視野に入れながら、検討を進めていきたい。

### 町長答弁

人事評価の取り組みを行っているが、給与や手当まで反映していない。国の指導は、反映させるということなので、現行の人事評価をよく検証しながら、反映するように取り組んでいきたい。

### 質問

イクボスを取り入れ、統一した形で全職員が共有し、笑顔で明るい職場づくりを目指す努力をしてはどうか。

### 町長答弁

それぞれの職場の中で全職員が意識を共有し、風通しの良い職場であることは、極めて重要である。具体的にイクボスをどうするかは、より効果が高くなる形で私どもも導入を十分検討させていただきたい。

### 質問

現行の人事評価制度は、公平、透明、客観、納得性などに配慮して行われているが、給与や勤奨手当等には反映されていないので、人事評価の完全実施は行えるのか。

超える企業）は次世代育成支援のための行動計画の策定と実行を通じて仕事と家庭の両立を図る雇用環境の整備が義務づけられた。

# 予算審査質疑

平成30年度一般会計ほか6会計・1事業会計予算

第1回定例会で付託された平成30年度各会計予算審査特別委員会（細井委員長）で、各委員から出された質疑の一部を要約してお知らせします。

## 一般会計 総務費

### 農園付き住宅物件 管理委託先は

加藤宏一委員 農園付き住宅の物件管理委託先は、どの様



農園付き住宅の視察（3月16日）

になっているのか。

石垣地方創生担当課長 施設

管理と作物指導を新しく出来る会社等に委託する。貸付け期間は1年間で現在、全部埋まる予定です。

### 地デジ等対策整備 工事の内容は

加藤宏一委員 地デジ無線の

システム対策費でバッテリー等の交換と聞いているが、何年サイクルでやるのか伺う。

石垣地方創生担当課長 地デ

ジ難視聴地区に電波を発信する設備が年数を経過したので、故障の可能性があるため、また受注品ということと時間がかかるため1台送信機を確保する。送信施設の停電時対応

のバッテリーは合計9か所あるが、おおむね5年で交換と聞かれている。

### チセフレップ 40周年事業

森本真隆委員 チセフレップ40周年事業の助成先として補助する主体となる団体や構成員について伺う。

石垣地方創生担当課長 実行

委員会方式で開催するが、地元側とOBの方々によって実行委員会を組織し実施することになる。

森本真隆委員 以前は、連合

青年団とも交流があり、是非メンバーとして入れて頂き、事業規模に込えられるよう検討頂きたい。



土幌小屋チセフレップ

### 合併浄化槽設置助成

出村寛委員 環境対策の一環である合併浄化槽設置助成であるが、設置数は。

瀬口総務企画課長 平成29年

度で18件、平成30年度については、10件で30万円を上限に300万円を計上した。

出村寛委員 浄化槽の法定検

査の未受検が有ると思われるが、助成を受けた方においてはどうか。

辻町民課長 平成28年度及び

29年度に助成を受けた方においては、未受検は無いと把握している。

### J-アラートの ミサイル対応は

大西米明委員 ミサイルが飛

んできたときにJ-アラートが鳴るとともに、もしミサイルが来たとき「こうしたらいいですよ。」というものを道が漫画でだしているが、広報に掲載するなど検討してはどうか。

瀬口総務企画課長 今後、ホ

ームページや広報で周知します。

### 重点プロジェクト 推進事業は

秋間紘一委員 重点プロジェクト推進事業委託料の取り組みは、どうなっているのか。

瀬口総務企画課長 まちづく

り計画など重点プロジェクトに突発的な事業が起きたときに調査研究をする経費となっている。

### すんじゃかロードの 管理状況

清水秀雄委員 平成9年に防

風保安林内に癒しの回廊が設置されたが、保安林内に貴重な植物群が有り、保存についての議論がなされた。現在、保安林の下草刈は、年3回行われているが現行の回数や刈り方では、貴重植物群の生育に大きな影響があるのではないか。

亀野産業振興課長 下草刈に

ついては、防犯や不法投棄など環境整備も含めて行ってお

り、希少植物と雑草が混在してあり、分けて下草刈りができない状況である。

**清水秀雄委員** 刈り取りの高さ、回数についても問題があるのではないか。

**小林町長** 今後、刈り取りの高さや回数、時期について、皆さんから意見を聞きながら担当課と進めていく。



すこやかロード ウォーキング講習会

## デジタルオルソ 画像データの利用は

**森本真隆委員** デジタルオルソ画像のデーター賃借料が計上されているが、画像制作委託ではなく賃借というシステムをとっていることの理由を伺う。

**角田町民課主幹** このデジタル画像は水土里ネット・旧土地連が飛行機を飛ばして撮影した航空写真で、データーをお貸ししますよということでお貸しを受ける形になるため、賃借料という形で計上している。

## 民生費

### 旧優生保護法の対応は

**大西米明委員** 現在、大変問題視されている、旧優生保護法による障がい者の不妊手術で、本町にはそのような例があるのか。

**高木保健福祉課長** 個人情報保護のために、道では市町村別の人数は非公開となっている。

**大西米明委員** 道が主体となっているので、十勝総合振興局の保健所などに連絡をとり、泣き寝入りしないような対応を町として行うのか。

**小林町長** 極めて重要な課題なので、取扱いに十分注意を

し、何らかの形で申し出していただけのように周知することを検討したい。

### 電子母子手帳導入 委託業務

**加藤一委員** 利用対象となる人数は

**高木保健福祉課長** 3歳児までが利用対象と思われ、150名程度を想定している。



日本ダウン症協会 子育て手帳

### ダウン症の子に対する 母子手帳を

**大西米明委員** 現在の母子手帳は、健常者用となっており、ダウン症の子には合わない。ダウン症協会の家族が作成し

た到達度の書ける母子手帳があるが、採用することは可能か。

**宇佐見保健福祉課担当主査** 母子保健法で定められている母子手帳の補完として、どう活用できるか内部で検討中です。

**大西米明委員** 内部検討もいいが、一番はダウン症のお子さんを持つ家族と相談してほしい。

## 衛生費

### 中士幌共同墓地の 環境対策は

**出村寛委員** 中士幌の共同墓地にある五葉松の落ち葉が邪魔になるということで伐採したが、国道縁はそのままであり、今後墓地の環境維持としてどう考えているのか。

**辻町民課長** 昨年伐採した部分は檜葉を植えた。国道縁については、道路用地ということを手をかけない予定である。

### ハチの巣駆除費助成 内容は

**秋間一委員** 蜂の巣駆除費助成金が、12万円計上されているが、助成先が個人なのか。業者なのか伺う。

**小林町長** 個人で業者に依頼し、支払金額の3,000円までを助成する。

**秋間一委員** 本町の場合は、業者はどこになるのか。

**辻町民課長** 十勝クリエイトサービスが事業者になっている。



蜂の巣づくり



## 農林業費

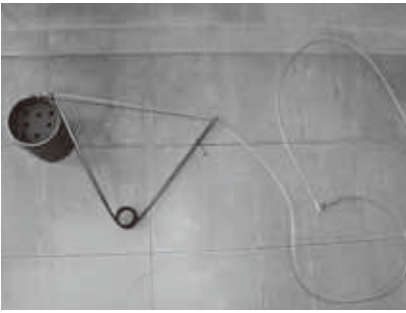
### エゾシカの捕獲対策は

**河□和吉委員** エゾシカの捕獲実績は

**亀野産業振興課長** 平成29年度については、103頭です。

**河□和吉委員** 本町の農業被害額は、十勝管内でも最小となっているが、実際のところ被害が減っている感覚は無い、新たな対策を考えているのか。

**小林町長** 近年、猟友会会員も減少傾向にあり、駆除対応が難しい状況になっている。今後、新たな技術を取り入れる事を猟友会とともに検討したい。



エゾシカ等駆除用わな（わな猟免許が必要）

### アライグマの生息状況と対策は

**大西米明委員** 今、全道的に騒がれていてアライグマが2015年に一万頭以上が捕獲され、増え続けているといわれる。土幌町では目撃されていないようだが、食害等はあるのか。又、捕獲対象として補助してはどうか。

**亀野産業振興課長** 近年、管内でも特定外来種のアライグマの捕獲数が急増している。本町では、直接被害が出た報告はないが、鳥獣被害計画を見直して猟友会とともに協働でアライグマの駆除、情報公開に努める。



アライグマ（北米原産の動物）

特定外来種とは、

北海道生物の多様性の保全等に関する条例に基づき、道内に本来その土地に生息・生育しない種が持ち込まれ、生物多様性への影響が懸念されることから、生物多様性に著しい影響のある種を指定したものをいう。

### 馬事振興の状況は

**和田鶴三委員** 馬事振興活動の今後、どの様に馬の保存を行うのが。

**亀野産業振興課長** 農業の歴史の原点ですので、各馬事振興団体の方々と存続するようお願いします。

## 土木費

### 道道の除雪対応は

**大西米明委員** 町内の道道の除雪が非常に悪い。町道は路面が出ているのに本線の道道

だけがガタガタで道路安全上問題がある。

**小林町長** 国道や道道の管理については、日ごろから申し上げているところだが、議会でこの問題が提起されたということでご改めて道の管理局に申し上げる。

### 見守り付公営住宅の管理は

**清水秀雄委員** 外のガラスが高い位置まであり、汚れの対応ができないので、町がしかるべく対策をとるのか。

**田中建設課技術長** 入居者の話も伺い対応を進めていきたい。町の方で対応していかなければならぬと思っている。

**清水秀雄委員** 部屋の中を拝見させていただいたが、中の棚が高すぎて高齢者が使用するには、使えない部分があり、どの様に対応するのか。

**田中建設課技術長** 現在、建具の寸法が高い傾向になってきているので、現場を見ながら棚を追加するなどの対策を検討していかなければならぬと思っている。

## 教育費

### 土幌高校の振興対策は

**大西米明委員** 土幌高校が認証取得したグローバルGAPにより、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに食材の提供が可能となったが、取得したグローバルGAPを本町農業にどの様に反映させていくのか。

**小林町長** 本町は、生産性の高い農業を展開している。今後、TPPや国際化、グローバル化が進む中で、土幌高校が農業高校として先駆的役割を果たし、この様な取り組みを農業政策の中に生かしていく。

### 学校給食の原材料高騰対応は

**加藤宏一委員** 今年のように、原材料費の高騰で給食費を上げずに賄いきれるのか。

**斉藤給食センター所長** 昨今、生鮮野菜を中心に単価高騰しているが、何とか野菜の高騰

も一段落しそうなので、献立を工夫して現在の予算の中でメニューを提供していきたい。

### 小・中学校の冷房機の導入は

**大西米明委員** 温暖化で夏も非常に暑いので、小・中学校に冷房を入れては、どうか。  
**小林町長** 近年は猛暑ということ、特老や病院はある程度、設置したが認定こども園、学校を含めて導入による財政状況を考慮し町全体で検討したい。

### スクールバスの運行経路の見直しは

**河□和吉委員** 30年度末に小學校3校が閉校になることにより、スクールバスの路線の見直しを行うのか。あるいは増車で対応するのか伺う。  
**藤村教育課長** 路線の見直し、また、新しく創設できるようなサービスがあるのか地域の人たちと膝を交えて検討する。増車も検討の余地はある。  
**河□和吉委員** 現在スクール



平成29年度 更新された新田線

バスに一般の人（高齢者）が混乗する形で農村部を回っているが、スクールバス乗車時間が長くなるので、例えば一般の人には第2便として細かく病院や市街まで運行するなど、混乗以外の方法を検討してはどうか。

**小林町長** 高齢者の市街へ来る方法として混乗だけでは十分ではないと認識しているの、新たな支援も含めてアンケートをとって31年度以降には何らかの形で取り組む。

### 総研のフィットネス事業の方向性は



総合研修センター トレーニング室

**飯島勝委員** 現在、フィットネス事業が一部屋での取り組みとなっており、今後はどのような方向性で考えているのか。

**藤村教育課長** 利用率が高く、利用者からの時間延長、曜日変更などの要望があり、もう一年試行を延ばし、30年度中には検討したいと考えている。  
**飯島勝委員** 利用者の方は、汗をかくわけで、少なくとも更衣室の設置を要望したい。  
**堀江教育課長** 施設を見ておわかりのとおり、近くに空き部屋が無く、どこかの部屋を潰さない限り現状では、不可能な状況である。

### 一般会計全般

#### 新年度の予算計上は

**大西米明委員** 予算全般を通じてだが、開拓120周年の講演に200万円は一応予算を組んだ話で、すべてが試算して出せないことがあると思うが、積み上げた金額ではないし無駄な予算を使うことになるのではないか。

**小林町長** 健全な財政運営を行う為、より効率的、効果的に予算を執行することが重要、ただ安易に予算を組んだから使うのではなく、不用額として残すものは残すようにしていく。

#### 介護保険特別会計

#### グループ制の運用は

**大西米明委員** グループ制をとっているが残業時間が片方は1時間で帰り、もう1人は

2時間の残業で帰る。みんな業務を終わらせて帰るのがグループ制でないのか。

**柴田副町長** 忙しいときは、グループ内で協力してやるのが本来なので、これから時間外の縮減に取り組みたい。

#### 国保病院事業会計

#### 一般病床への転換で空き部屋の活用は

**中村貢委員** 30年度で病床数を10床減らすが、それによって生じた空き部屋の利用方法は。

**土屋病院事務長** 今の予定では2部屋ないし3部屋空くことになるとは、病院内の機材の収納スペースや緊急時の入院対応等に使用できるような方法を検討している。

#### 空き病床の活用は

**大西米明委員** 病院改革により、病床60床から50床にし、残り10床の内、保育園の病後

保育の部屋として使えないものか。

**小林町長** 病後児保育は、29年度から行っており、認定こども園の中に一部屋を確保し、保育士と看護師によりケアを行う。看護師は、町立病院から来ていただくことにしている。

### 療養病床の入院患者の対応

**大西米明委員** 7月1日から一般病床にすべてが変わるが現在、療養型に長期入院されている方々の対応は。

**土屋病院事務長** 療養病床入院基本型Iを地方厚生局に申請することにより、現在療養型で入院されている方も引き続き入院できる。

**大西米明委員** 今後は、療養型の長期入院は出来ないのか。

**土屋病院事務長** 90日のルールがあるが、90日ごとに切りかえる事（療養病床の取扱いへ）により引き続き入院が可能となる。

**大西米明委員** 院長のリーダーシップのもと病院改革をし

っかり行ってもらいたい。

### 病床数の削減

北海道地域医療構想において、十勝二次医療圏で395床の病床数の削減が示され、基幹病院と機能を相互補完するなどの役割分担を求められた。現在の病床利用率等を勘案し60床（一般病床40床、療養病床20床）から50床（一般病床50床）へ削減することになった。

## 第2回臨時会

5月9日開催

第2回臨時会が開催され、審議案件は次のとおりです。

◎全会一致で可決

■専決処分

一般・国保会計の専決処分

■工事請負契約の締結

工 事 名 下居辺地区農地耕作条件改善事業農道整備工事

契約金額 155,520,000円

契約相手 平田・佐藤経常建設共同企業体

工 期 平成30年10月31日まで

■士幌町町税条例の一部を改正する条例案

■損害賠償額の決定及び和解について

■一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出の総額にそれぞれ3,047千円を追加し、歳入歳出の総額を71億4,704万7千円とした。

# 「高校生等の若者人材は町の将来の宝」から 始まった『株式会社Cheers』の創立



株式会社Cheers

代表取締役

加納

昇

さん

この度、株式会社Cheers(チアーズ)の創立にあたり、小林町長から「まちづくり会社」を創立したいので力を貸して欲しいとお誘いがあり、正直申しまして私自身高齢で次の世代に経営を継承する立場でありながら、しかも関連業務に深い専門の知識があるわけではない私、この大役をお受けすることは難しいと申し続けておりましたが、何かお役に立てる事があるのか、今まで肉牛経営しか知らない自分に何ができるかと悩んだ末、私の様な者が町民のお役に立てることがあればと思、この度、代表取締役という大役をお受けする事になりました。

てしまう」など、これまでの採用・雇用の慣わしが通じない状況がある一方、生涯現役社会の実現、女性や若者への支援、障がい者・生活困窮者などに対する雇用・就労支援の拡充などの施策の動きが活発化しております。果たして人材の需給は好転するのでしょうか。農業や各種製造産業などは「人手不足」業種の典型ですが、マスコミが描く厳しさだけでなく、「身近な仕事としてイメージしにくい」、「キャリアの見通しを付けにくい」などの声のように、求職者がその仕事や「働き方」を理解し選ぶことが難しい現状です。このままでは、人口減少が本格化する中でますます採用活動・人材確保は困難になって参ります。

に、澱粉工場を手始めに馬鈴薯「コンビナート施設等を充実させ、産品の一貫処理加工や全国各地に工場や物流施設等の整備を進め、隣接する食品加工工場では大手ブランド商品や様々な商品に2次加工され、全国各地に加工・貯蔵・物流のネットワークを敷き全国の消費者へ届けるなどの仕組みづくりを築き、現在の隆盛に繋がっています。これも偏に、多くの優れた先人の人達の血のにじむ苦勞と英知が積み重ねられ、今に至っているところです。しかし、我が国の少子高齢化や雇用市場の動向、若者をめぐる厳しい環境を考えると、この町を支える人材や人口の行く末は、従来通りの施策や事業だけでは決して見通せる状況ではありません。この様な中、今まで築き上げた先人の偉業を、未来を担う若い人達に語り継ぎ、たぐいまれなこの十勝の自然が育んだ農業を次の時代に継承しながら新たな商流を生み出すため、各団体の方々、更には、それぞれの分野において活躍されている人達の知恵と行動力を結集して、未来に向かって更なる活気あふれる土幌町になるような手助けが出来ればと思っております。

ただでなく、若い人材の育成に取り組んでいる素晴らしい宝物である「土幌高校」があります。最近、高校の先生方の指導の下、生徒の活躍が新聞等で多く見受けられます。是非とも、この若い人達の多くのアイデアを株式会社Cheersで吸収し、商品化等が出来るよう全面的に協力していきたいと思っております。何れにしても、町民の皆様方にはもちろんのこと、土幌町で働く全ての人達にも魅力を感じてもらえるような土幌町をつくるためにも、株式会社Cheersの活動には是非ご理解いただきたく存じます。まだまだ会社としての力は未知数です、社員と呼べる職員もこれからですが、土幌町の多大なるバックアップを受けながら、将来は専属スタッフも少なからず雇用し、社名のとおりあらゆる分野への応援が出来ればと思っております。

しほろ議会だより

No.168

平成30年5月15日発行

土幌町議会

08011200

北海道河東郡土幌町字土幌225番地

電話01564(5)5218

広報特別委員会

- 委員長 大西米明
- 副委員長 河口和吉
- 委員 出村 寛 飯島 勝 細井文次